

「ひきこもりについて学ぶ

～当事者の思い、親の願い～

最近では、ひきこもりを題材にしたドラマやドキュメンタリーが放送される等、ひきこもりに対する世間の関心が非常に高まっています。では、人がひきこもり状態になった時、当事者は何を考え、親はどのように思っているのでしょうか。支援者はどう支えていけば良いのでしょうか。

研修会前半は、基調講演として、ひきこもり経験があり、NPO法人ニュートラルで支援員をされている町田 弘樹氏、ひきこもり当事者のご家族で、ひきこもりサポートスペースゆまほほ代表の岡田 洋之氏をお招きし、当事者、親の視点について考えてみたいと思います。後半では、両名をパネラーに座談会を行い、支援者の役割について考えてみたいと思います。

多くの方々にご参加いただき、ひきこもりの知識、理解を深めていきたいと考えています。

1. 日時・会場
- 【北部会場】会場定員50名
令和3年10月19日（火）14時～16時
（宮津市）宮津市福祉・教育総合プラザ
3階 第1コミュニティルーム
- 【中部会場】会場定員50名
令和3年10月27日（水）14時～16時
（亀岡市）ガレリアかめおか
2階 大広間
- 【南部会場】会場定員100名、Zoom定員100名
令和3年11月 2日（火）14時～16時
（京都市）キャンパスプラザ京都
5階 第1講義室
- ※各会場とも受付は13時30分～
※南部会場のみオンライン配信を行います。

2. 内 容
- 【基調講演】
- 「ひきこもりについて学ぶ～当事者の思い～」
町田弘樹氏（特定非営利活動法人ニュートラル支援員）
 - 「ひきこもりについて学ぶ～親の願い～」
岡田洋之氏（ひきこもりサポートスペースゆまほほ代表）

【座談会】
「支援者はどう支えるか～当事者、親が望むこと～」

*パネラー

- ・町田弘樹氏
- ・岡田洋之氏

*コーディネーター 京都府脱ひきこもり支援センター

3. 対 象
- 市町村や指定相談事業所（障害）、社会福祉協議会、地域包括支援センター、福祉事業所等の職員及び民生児童委員、こころの健康推進員 など

※お問い合わせは、京都府脱ひきこもり支援センター（京都府家庭支援総合センター内）まで

電話 （075）531-5255（9時～16時）

※お申し込みは、裏面のFAXまたはメールの宛先にお送りください。

令和3年度 ひきこもり支援対応強化研修（基礎編）参加申込書

下記の項目を記入し、Faxまたはメールでお送りください

【締切】北部:令和3年10月12日(火)、中部:10月20日(水)、南部:10月26日(火)

●特定非営利活動法人 若者と家族のライフプランを考える会

(京都府研修事業委託業者)

<Fax 075-201-8073 ><メール kyo.lpw@gmail.com >

令和3年 月 日

氏名	所属機関または お住まいの市町村	職種	電話番号	参加 希望日	メールアドレス (参加区分:会場 or オンライン)

講師プロフィール



町田 弘樹氏

18歳から30歳までの12年間ひきこもりを経験。30歳より民間支援団体の居場所通所を始める。31歳より大阪にて自助グループの世話人として4年間活動。35歳より作業所スタッフを経て、現在は京都府福知山市「NPO法人ニュートラル」スタッフとして、ひきこもり支援活動を行っておられます。



岡田 洋之氏

民間企業で28年間、技術職、人材育成に携わり、その後、京都ジョブパーク、地域若者サポートステーションで若者の就労支援に従事。我が子の不登校ひきこもりの経験から多くを学び、現在は、京都府ひきこもり支援チーム絆地域チーム「ほっこりスペース・あい」や他府県のひきこもり当事者を支える家族会で活躍されているほか、今年度からご自身でも、「ひきこもりサポートスペースゆまほほ」にて、ひきこもり当事者やそのご家族を支える活動をされています。

会場案内図

<北部会場>



<中部会場>



<南部会場>

